

## 7月10日：利益確定圧力が高まり上昇はストップ

ベトナム株は5営業日連続の上昇を記録していたが、金曜日には下落して一週間を終えることとなった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.6%安の871.21ポイントで取引を終えた。直近5営業日では4.04%ほど上昇をしていた。

大型株が下げを牽引した。VN30指数は1%安の89.02ポイントで取引を終えた。

24銘柄が下落し、6銘柄のみが上昇した。

大きく下落したのは、テクコムバンク (TCB)、サコムバンク (STB)、HDバンク (HDB)、ビンコムリテール (VRE)、ビンホームズ (VHM)、ホアファットグループ (HPG)、ノブランド不動産 (NVL)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、ペトロベトナムガス (GAS)、FPTグループ (FPT) などであった。

VN30先物7月限は1.41%安の803.07ポイントで取引を終えた。

その他の8月、9月、12月物は1.5-1.8%ほど値下がりした。

セクターごとでは、銀行、小売、鉱業・エネルギー、ITは0.8-1.0%ほど下落した。

一方、証券、建設、水産加工、運輸などはわずかに上昇した。

中小型株も上昇、中型指数は0.17%、小型株指数は0.22%上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.43%下落し115.66ポイントで取引を終えた。

同指数は直近の4営業日で4.13%ほど上昇をしていた。

出来高は3億2780万株で売買代金にして5.3兆ドンであった。

外国人投資家は売り越し、1600億ドンを売り越した。

金曜日に警戒感が高まったが、売り圧力はそれほど強くなく、多くの投資家は値下がりしたタイミングで購入を図っていたとThanh Cong証券は語った。

VN指数は875-885ポイントに向けて上昇するかもしれないと同社は予想した。

885 ポイントの抵抗線を抜ければ、900 ポイントに向かって上昇するだろうと同社は語った。第2四半期の決算によってもまちまちの動きとなりそうである。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。